

平成 24 年度 市政運営会議 議事概要

日 時	平成 24 年 12 月 25 日(火)14:05~14:42
議 題	アイランドシティにおけるスマートコミュニティ形成の方向性の確認について
出席者	高島市長, 山崎副市長, 大野副市長, 総務企画局長, 財政局長, 環境局長, 経済観光文化局長, 港湾局長, 総務企画局理事 ほか
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ アイランドシティを本市のスマートコミュニティ形成のモデル地区とする。 ○ スマートコミュニティ形成の方向性の内容を別紙のとおりとする。 ○ 平成 25 年度～28 年度(次期政策推進プラン期間中)に重点的に取組む主な事項を以下の①～④とする。 <ul style="list-style-type: none"> ①住民による地域の環境・まちづくりの取組み誘導 ②再生可能エネルギーの導入のための支援誘導 ③地域のエネルギー・マネジメント構築のための支援誘導 ④事業推進母体をめざす企業協議会(仮)を設立
主な意見	<p>○スマートコミュニティ創造事業は、昨年 8 月策定の「アイランドシティ自然エネルギー活用ビジョン」で示した国内トップレベルの創エネ・省エネ型都市づくりに合致したものであるとともに、環境・エネルギー関連産業の振興の面で強化された内容となっており、港湾局としても、積極的に取組むことによって、環境共生のまちづくりや土地分譲・企業誘致につなげていく。</p> <p>具体的には、再生可能エネルギー導入のための立地箇所の調整、進出事業者に対する施設のスマート化への誘導、住民参加の環境・エネルギーまちづくりなどを環境局と一体となって進めていく。</p> <p>計画の策定にあたっては、アイランドシティを本市におけるスマートコミュニティのモデル地区として位置づけ、施策を重点化していただくとともに、民間事業者等の参画を促すためのインセンティブの創設・拡充などの環境整備を進めていただきたい。</p>

○経済観光文化局は、福岡ビジネス創造センターにおいて、東部の产学連携拠点としての機能の充実・強化を図っていくこととしており、その中で、スマートコミュニティ事業にも対応した機能の拡充を進めていく。

また、グリーンアジア国際戦略総合特区制度に基づく国及び12月議会で議決された福岡市条例による独自の支援制度も活用し、産業振興の側面から環境局・関連局と連携して取り組みを進める必要がある。

○アイランドシティ・スマートコミュニティ形成をグリーンアジア国際戦略総合特区として総合特区制度の活用を図るために、「国際競争力の強化」という目的を達成するためのシナリオが必要であることから、今後、アイランドシティ・スマートコミュニティ創造事業計画を策定するにあたって、協力企業と協議会を設立される際には、各企業と、行政の役割分担、特に、海外輸出に向けての核となる企業の抽出について協議をする必要がある。

○アイランドシティにおけるスマートコミュニティ形成に向けた事業の今後の展開にあたっては、取組みが多岐にわたることや実施事例の少ない先導的な取組みも含まれることから、本市の財政状況を踏まえ、以下の観点から一定の整理をお願いしたい。

- ・民との役割分担の考え方
- ・事業実施の必要性
- ・事業実施の緊急性や実施時期
- ・事業規模と優先順位 等

平成 25 年度の事業実施については、スマートコミュニティ形成事業における取組みの優先性やアイランドシティにおけるまちづくりの現状、今後の展開等を踏まえ、予算編成において決定する。

平成 26 年度以降の事業実施については、事業の進捗や効果等を踏まえ、毎年の予算編成において決定する。

○アイランドシティが、スマートコミュニティを体現した先行的なまちになることは福岡市の価値を大きく引っ張っていくうえで大きな可能性がある。民間事業者のニーズや国での取り組みなど、情報収集をしつかり行うべきである。